

25/2/25（火）広沢一郎名古屋市長定例記者会見（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる、文字起こしアプリによる文字起こし

中日新聞：中日新聞の福本です。

名古屋城のことで少しお伺いしたいなと思ったんですけども、新年度予算で本丸外の無料開放最大1ヶ月ということが掲げられていますけれども、一方で世界遺産の姫路城は入場料を値上げする方針を姫路市が示しておりますが、こういった中で無料開放する狙いというのは市長こういったところにあるんでしょうか。

広沢：無料開放はですねこれ私のマニフェストに掲げましたが、やはり名古屋の中で一番価値が高いのはやはり本丸の中、本丸の中には天守と、本丸御殿があるということ。そして本丸外ではですねいろいろな菊の展示であるとか、二の丸エリアでいろいろなイベントが行われるというね。

ここを無料開放することによって、そのイベントが活性化されるんじゃないかということ、そしてまたあの本丸外のエリアにはいろいろな例えば茶室があってですね、直接お声をいただいているのは、そういう茶室に行くためだけに、要はもう、もう名古屋城は何回も来てるから、本丸には行かないのに茶室に行くためだけに500円払うのはっていう声もありましたのでそういうお声にお応えするという狙いもあります。

そしてまた地域住民の方にはですね、名古屋城内を通る、その散歩であるとかですね、気分転換にそこに入ることで、極めてメリットがあるのではないかというふうに考えております。そして姫路城が値上げしたことに关してはですね、あれはあれでちょっと別途考えてまして、あれはインバウンド系で、市外の方を高くするとかですね。これは確かに方法論としてはあると思いますので、できればそういうのを合わせてですね、何らか実験できないかなとは、まだ全く検討段階ですけども、ええ。

というふうにはこれから考えていこうかなと思います。

中日新聞：今回は実証実験ということで最大1ヶ月というお話ですけども今後それを恒常的にするのか、もしくは本丸も含めて無料開放する時期を、イベントを作るのかっていうのはどのように考えていらっしゃるでしょうか。

広沢：本丸を無料開放する考えは今のところございません。

やはり本丸の中こそがですね一番名古屋城の中で価値が高いところですので、無料開放で試したいのは、無料開放することによってそういう二之丸のイベントとかがですね、極めて来場者数が増えるかどうかということそしてまた、そのいわゆる近隣の方がですね、どれぐらいその無料期間に、名古屋城内に入って散策をされるか、そういうことで市民の便益がどれぐらいそれにおいて上がるかということ、また同時にですね、本丸外が無料になるだけでどれぐらいに例えば減収になるのか、はたまた変わらないのかそのあたりもしっかり調べて行きたい。それによって、将来ですねこれはその本丸外を無料にした方が、無料にしても

ですね、特に収益に影響がないんだとか、やっぱりこれは相当減収になっちゃうとかそういうことが測れますので、もし仮に減収にならないということであるならば、これは恒常化する道が開けるかなというふうに思います。

中日新聞：ありがとうございます。もう一点木造天守の事業で完成した場合は入場料で事業費を賄うという話がありますけれども、これ今の話は少し違うかもしれないんですがこれは変わらずそういう広沢さんの思いとしてはあるでしょうか。

広沢：それは元がそういう計画ですのでその通りにやっていきたいとします

中日新聞：ありがとうございます。

広沢：ただ値段は柔軟に考えたいなど。結構今 500 円ですけど、極めて安いという声もありますので、もう少し他の事例とかですね、海外のそういうお城の事例等も見ながら、適切な値段をつけていきたいというふうには思います。